BRAVE グラップリングルール・規則　　[2023.03.01 改定]

【階級】　対戦相手は申請時の通常体重、経験を元に組み合わせる。
バンタム級(-61.2kg) ライト級(-70.3kg) ミドル級(-83.9kg) はランキングを設け、バンタム級・ライト級には王座を設ける。

【試合時間】　通常 3 分 2R インターバル 30 秒
トーナメント決勝及びタイトルマッチは 1R の延長を行う

【服装】　着衣･用具に不備があった場合、試合前に交換を命じたり失格とする場合がある。
男性：上半身は裸かラッシュガード、下はスパッツかファイトショーツ
女性：上半身は半袖Ｔシャツかラッシュガード、下はスパッツかファイトショーツ。
①シューズの着用は禁止。イヤーガード・サポーター・テーピング以外の着用は禁止。
②パンツはなるべく相手コーナーのカラーは着用しない。
※主催者が用意したコーナーカラーのテープを手首に巻く。
※着衣は金具やポケットなどが無く、自分のサイズの合ったもの、破れ･ほつれの無い清潔な物に限る。

【勝敗】　BRAVE グラップリングルールではポイント制を採用しない。
①関節技・絞め技による一本(関節技や絞め技が完全に入った場合、レフェリーの判断で止める場合がある。)
②レフェリーストップ・ドクターストップ(負傷等により続行不可能とレフェリーまたは主催者が判断した場合も含む。)
③セコンドによるタオルの投入。試合棄権の意思表示。
④判定…一本決着がつかなかった場合、ジャッジ 3 名による判定で勝敗を決する。
⑤反則…悪質な反則の場合は即失格負けとする。 ※【減点・反則・禁止事項】参照
・ギブアップはレフェリーに口頭で告げるか、相手の体もしくはマットを 2 回以上手か足で叩いて表示する。
・ジャッジは 2 ラウンドを通してのポジショニング、アグレッシブ性、レフェリーの『キャッチ』、減点を考慮して判定する。

【減点・反則・禁止事項】
・ヒールフック(ヒールホールド)　・ネッククランク ※腕や足で首を捻る行為。
・３秒以上のクローズドガード。(フロントチョークなど技に入った状態は可)　※ハーフガードは制限なし
・頭部・頚部・脊椎部に自分や相手の体重をかけて極める(絞める)行為。
・あらゆる打撃攻撃。相手の毛髪を掴む行為。耳・鼻・指など体の一部を掴む（極める）行為。
・金的、目潰しなどマナーに反する行為。着衣を掴む、引っ張る行為。着衣を使っての攻撃。
・相手を持ち上げて、故意に背中や後頭部から落とす行為(バスター)。相手を頭頂部・後頭部から落とす投げ技。
・ロープやコーナーマットを掴む行為。場外へ逃げる行為及び相手を場外へ出す行為。 消極的な行為。膠着を誘発する行為。
※軽微な反則等の場合、コーション(注意)が与えられ、2 回目以降は減点対象となる。
※悪質な反則や、軽微な反則でも繰り返し行った場合は減点及び即刻反則負けの対象となる。

【セコンド】　セコンドは 2 名まで。インターバル中にリング内に上がれる(選手に触れる)のは 1 名。
・セコンドは試合中、選手・レフェリー・ロープ・コーナーマット等に触れてはならない。
・相手を侮辱するような言動、暴言や進行の妨げとなるような行為は、選手の減点及び失格の対象となる。

【その他】
・レフェリーにドントムーブを告げられたら、互いに攻防を止め、その状態のまま静止すること。
・ロープ際など続行困難な場所ではレフェリー判断によりポジションを変えて再開される。
・計量前に爪を切り、アクセサリー類は必ず外してください。ワセリンや過度な整髪剤等の使用も禁止します。

N.M.F　東北格闘技連合会 2006.07.22 制定/2023.03.01 改定

東北格闘技連合会
NORTHEASTERN MARTIALARTS FEDERATION